

沿革

1999年	3月	ソフトバンク(株)の純粋持株会社化に伴う事業再編成を受けて、ソフトバンク(株)管理本部がソフトバンク・ファイナンス(株)として独立。金融関連分野における事業活動を統括する事業持株会社となる。
	7月	ベンチャーズ・インキュベーション事業を行う事を目的として、ソフトバンク・ファイナンス(株)傘下にソフトバンク・インベストメント(株)(当社)を設立。
	11月	ソフトバンクベンチャーズ(株)(現SBIインベストメント(株))を完全子会社化。
2000年	12月	ナスダック・ジャパン市場(現JASDAQ市場)に上場。
2001年	4月	ソフトバンク・アセット・マネジメント(株)(現SBIアセットマネジメント(株))を子会社化。 エスピーアイ・キャピタル(株)(現SBIキャピタル(株))を設立。
2002年	2月	東京証券取引所市場第一部に上場。
	11月	大阪証券取引所市場第一部に上場。
2003年	6月	イー・トレード(株)と合併し、事業持株会社としてイー・トレード証券(株)他を子会社化。以後、当社を中核会社とする事業再編を加速。
	10月	ワールド日栄証券(株)(IHSBI証券(株))を買収し、子会社化。
2004年	2月	ファイナンス・オール(株)及び同社の子会社であるグッドローン(株)(現SBIモーゲージ(株))、ウェブリース(株)(現SBIリース(株))を子会社化。
	7月	モーニングスター(株)を子会社化。
2005年	3月	公募増資によりソフトバンク(株)の持株比率が低下し、ソフトバンク(株)の連結子会社から持分法適用関連会社に変更。
	7月	ソフトバンク・インベストメント(株)からSBIホールディングス(株)に商号変更。会社分割により、アセットマネジメント事業をSBIベンチャーズ(株)(現SBIインベストメント)に移管し、持株会社体制へ移行。
	10月	中国・北京市に駐在員事務所を開設。
2006年	7月	イー・トレード証券(株)(現(株)SBI証券)がSBIイー・トレード証券(株)に商号変更。
	8月	主要株主であるソフトバンク(株)の子会社が当社の全株式を売却したことにより、ソフトバンク(株)の持分法適用関連会社より除外となる。

2007年	2月	シンガポール現地法人SBI VEN CAPITAL PTE. LTD.を設立。
	8月	私設取引システム(PTS)を運営するSBIジャパンネクスト証券(株)が営業開始。
	9月	(株)リビングコーポレーション(現SBIライフリビング(株))を子会社化。 住信SBIネット銀行(株)が開業。
	10月	SBIイー・トレード証券(株)(現(株)SBI証券)が、同社を存続会社として旧SBI証券(株)と合併。
2008年	1月	SBI損害保険(株)が開業。
	7月	SBIイー・トレード証券(株)が(株)SBI証券に商号変更。
	11月	SBIリクイデティ・マーケット(株)が営業開始。
	12月	香港現地法人SBI Hong Kong Co., Limited(現SBI Hong Kong Holdings Co., Limited)が開業。
2010年	4月	中国・上海市に駐在員事務所を開設。
	7月	韓国のKorea Technology Investment Corporation(現SBI Investment KOREA Co., Ltd.)を持分法適用関連会社化。
2011年	4月	当社株式を原株とする香港預託証券(HDR)を香港証券取引所に上場。
	5月	マレーシア・クアラルンプールに駐在員事務所を開設。
2012年	3月	中国事業統括会社である思佰益(中国)投資有限公司が開業。
	5月	SBI FXトレード(株)が営業開始。
	6月	SBIマネープラザ(株)を中心とした対面販売部門の組織再編を実施、(株)SBI証券の対面部門を同社に移管。
	10月	当社株式1株につき10株の割合での株式分割を実施。
2013年	3月	韓国の(株)現代スイス貯蓄銀行の株式を取得し、連結子会社化。 いきいき世代(株)の全株式を取得し、連結子会社化。